

## 高石商工会議所景気観測調査

2018年3月調査

### 調査概要

○調査対象：高石市内 43社

(業種内訳 製造業 11社、建設業 10社、小売業・卸売業 7社、  
飲食業 6社、サービス業 9社)

○調査時期：2018年3月

○調査項目：業況、売上高、採算、資金繰り、仕入価格、従業員(人手)状況

○調査方法：「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

### ※DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。（仕入単価については、下落をプラス要素、上昇をマイナス要素としている。）

各DIが示す内容	プラス	マイナス
業況	好転	悪化
売上高	増加	減少
採算	好転	悪化
資金繰り	好転	悪化
仕入単価	下落	上昇
従業員	不足	過剰

(例) 業況 好転 40% 不変 35% 悪化 25%

$40 - 25 = 15$  業況判断 DI=15

## 全体

全体 DI 値の推移（前年同月比）

高石市全体では、売上高判断 DI が 2 期ぶりにプラスに転じ改善が見られた。業況、採算、資金繰りについても DI 値がマイナス水準ながら改善した。一方で、仕入単価判断 DI のマイナスが拡大し、悪化した。従業員の状況も人手不足感が続くが、サービス業において過剰感もみられた。

	H29. 7 月期	H29. 9 月期	前期 H29. 12 月期	今期 H30. 3 月期	来期見通し H30. 4 ~6 月期
業 況	▲ 8.7	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 4.7	▲ 14.0
売 上 高	0.0	7.0	▲ 9.8	9.3	2.3
採 算	4.3	▲ 16.3	▲ 17.1	▲ 14.0	▲ 11.6
資金繰り	▲ 4.3	▲ 14.0	▲ 9.8	▲ 2.3	▲ 4.7
仕入単価	▲ 48.9	▲ 51.2	▲ 46.3	▲ 54.8	▲ 38.1
従 業 員	23.9	23.8	27.5	29.3	22.0

来期については、採算でマイナス水準ながらやや改善する見通しとなっている。業況、売上高、資金繰りでは悪化に転じる見通しとなっている。仕入単価は改善する見通しとなっている。従業員の状況は人手不足感が解消に向かうとの見通しとなっている。

### ○業況について

2018 年 3 月期の高石市内全業種の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は 7 社(16.3%)、「不変」と回答した企業は 27 社(62.8%)、「悪化」と回答した企業は 9 社(20.9%)である。全業種の業況判断(DI)は、▲ 4.7(前期比 5.1 ポイント増)となり、改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう 3 ヶ月の 見通し	
好転	7	16.3%	3	7.0%
不変	27	62.8%	31	72.1%
悪化	9	20.9%	9	20.9%

向こう 3 ヶ月の見通しは、「好転」と回答した企業は 3 社(7.0%)、「不変」と回答した企業は 31 社(72.1%)、「悪化」と回答した企業は 9 社(20.9%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲14.0(今回調査より 9.3 ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなっている。

### ○売上高の動き

2018 年 3 月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は 14 社(32.6%)、「不変」と回答した企業は 19 社(44.2%)、「減少」と回答した企業は 10 社(23.3%)である。売上高判断(DI)は、9.3(前期比 19.1 ポイント増)とプラスに転じ、大きく改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう 3 ヶ月の 見通し	
増加	14	32.6%	10	23.3%
不変	19	44.2%	24	55.8%
減少	10	23.3%	9	20.9%

向こう 3 ヶ月の見通しは、「増加」と回答した企業は 10 社(23.3%)、「不変」と回答した企業は 24 社(55.8%)、「減少」と回答した企業は 9 社(20.9%)である。来期予想売上高判断(DI)は、2.3(今回調査より 7.0 ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなっている。

### ○採算の状況

2018年3月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は5社(11.6%)、「不変」と回答した企業は27社(62.8%)、「悪化」と回答した企業は11社(25.6%)である。採算状況判断(DI)は、▲14.0(前期比3.1ポイント増)となり、マイナス水準ながら改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	5	11.6%	6	14.0%
不変	27	62.8%	26	60.5%
悪化	11	25.6%	11	25.6%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は6社(14.0%)、「不変」と回答した企業は26社(60.5%)、「悪化」と回答した企業は11社(25.6%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、▲11.6(今回調査より2.3ポイント増)となり、マイナス水準ながら改善する見通しとなっている。

### ○資金繰りの状況

2018年3月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(4.7%)、「不変」と回答した企業は38社(88.4%)、「悪化」と回答した企業は3社(7.0%)である。資金繰り判断(DI)は、▲2.3(前期比7.4ポイント増)とマイナス幅が縮小し、改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	2	4.7%	1	2.3%
不変	38	88.4%	39	90.7%
悪化	3	7.0%	3	7.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(2.3%)、「不変」と回答した企業は39社(90.7%)、「悪化」と回答した企業は3社(7.0%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、▲4.7(今回調査より2.3ポイント減)となり、やや悪化するとの見通しとなっている。

### ○仕入単価の動き

2018年3月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は2社(4.8%)、「不変」と回答した企業は15社(35.7%)、「上昇」と回答した企業は25社(59.5%)である。仕入単価判断(DI)は、▲54.8(前期比8.4ポイント減)となり、悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	2	4.8%	2	4.8%
不変	15	35.7%	22	52.4%
上昇	25	59.5%	18	42.9%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は2社(4.8%)、「不変」と回答した企業は22社(52.4%)、「上昇」と回答した企業は18社(42.9%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲38.1(今回調査より16.7ポイント増)とマイナス幅が縮小し、改善するとの見通しとなっている。

### ○従業員について

2018年3月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は13社(31.7%)、「不変」と回答した企業は27社(65.9%)、「過剰」と回答した企業は1社(2.4%)である。従業員判断(DI)は、29.3(前期比1.8ポイント増)となり、人手不足感がやや強まった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	13	31.7%	11	26.8%
不変	27	65.9%	28	68.3%
過剰	1	2.4%	2	4.9%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は11社(26.8%)、「不変」と回答した企業は28社(68.3%)、「過剰」と回答した企業は2社(4.9%)である。来期予想従業員判断(DI)は、22.0(今回調査より7.3ポイント減)となり、やや人手不足感は解消に向かうとの見通しとなっている。

## 製造業

製造業 DI 値の推移（前年同月比）

製造業では、前期(H29.12月期)より、業況、売上高については改善した。採算は横ばいとなった。資金繰り、仕入単価はマイナス水準ながら改善した。従業員については不足感がさらに強まった。

来期の見通しについては、業況は、判断DI値がマイナスに

	H29.7月期	H29.9月期	前期 H29.12月期	今期 H30.3月期	来期見通し H30.4 ~6月期
業況	0.0	11.1	▲10.0	9.1	▲9.1
売上高	9.1	▲22.2	▲30.0	0.0	0.0
採算	18.2	▲22.2	▲10.0	▲9.1	9.1
資金繰り	▲18.2	▲22.2	▲30.0	▲9.1	▲9.1
仕入単価	▲54.5	▲77.8	▲80.0	▲72.7	▲72.7
従業員	27.3	22.2	20.0	36.4	27.3

転じ悪化するが、採算は改善され、従業員の不足感は解消に向かう。売上高、資金繰り、仕入単価については横ばいで推移する見通しとなっている。

### ○業況について

2018年3月期の製造業の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は3社(27.3%)、「不変」と回答した企業は6社(54.5%)、「悪化」と回答した企業は2社(18.2%)である。業況判断(DI)は9.1(前期比19.1ポイント増)となり、プラスに転じ改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
好転	3	27.3%	1	9.1%
不変	6	54.5%	8	72.7%
悪化	2	18.2%	2	18.2%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(9.1%)、「不変」と回答した企業は8社(72.7%)、「悪化」と回答した企業は2社(18.2%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲9.1(今回調査より18.2ポイント減)とマイナスに転じ、悪化する見通しとなっている。

### ○売上高の動き

2018年3月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は3社(27.3%)、「不変」と回答した企業は5社(45.5%)、「減少」と回答した企業は3社(27.3%)である。売上高判断(DI)は、0.0(前期比30.0ポイント増)となり、大きく改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
増加	3	27.3%	3	27.3%
不変	5	45.5%	5	45.5%
減少	3	27.3%	3	27.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は3社(27.3%)、「不変」と回答した企業は5社(45.5%)、「減少」と回答した企業は3社(27.3%)である。来期予想売上高判断(DI)は、0.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなっている。

### ○採算の状況

2018年3月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(18.2%)、「不変」と回答した企業は6社(54.5%)、「悪化」と回答した企業は3社(27.3%)である。採算状況判断(DI)は、▲9.1(前期比0.9

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
好転	2	18.2%	3	27.3%
不変	6	54.5%	6	54.5%
悪化	3	27.3%	2	18.2%

ポイント増)となり、横ばいとなった。

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は3社(27.3%)、「不変」と回答した企業は6社(54.5%)、「悪化」と回答した企業は2社(18.2%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、9.1(今回調査より18.2ポイント増)となり、改善するとの見通しとなっている。

#### ○資金繰りの状況

2018年3月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(9.1%)、「不変」と回答した企業は8社(72.7%)、「悪化」と回答した企業は2社(18.2%)である。資金繰り判断(DI)は、▲9.1(前期比20.9ポイント増)となり、改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	9.1%	1	9.1%
不変	8	72.7%	8	72.7%
悪化	2	18.2%	2	18.2%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(9.1%)、「不変」と回答した企業は8社(72.7%)、「悪化」と回答した企業2社(18.2%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、▲9.1(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなっている。

#### ○仕入単価の動き

2018年3月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は3社(27.3%)、「上昇」と回答した企業は8社(72.7%)である。仕入単価判断(DI)は、▲72.7(前期比7.3ポイント増)となり、改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	0	0.0%	0	0.0%
不変	3	27.3%	3	27.3%
上昇	8	72.7%	8	72.7%

向こう3ヵ月に見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は3社(27.3%)、「上昇」と回答した企業は8社(72.7%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲72.7(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなっている。

#### ○従業員について

2018年3月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は4社(36.4%)、「不変」と回答した企業は7社(63.6%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、36.4(前期比16.4ポイント増)となり、人手不足感が強まった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	4	36.4%	3	27.3%
不変	7	63.6%	8	72.7%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は3社(27.3%)、「不変」と回答した企業は8社(72.7%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、27.3(今回調査より9.1ポイント減)となり、不足感は解消に向かうとの見通しとなっている。

#### 企業のコメント

- ・ 不良率の増加。材料価格の上昇。
- ・ 人手不足。

## 建設業

建設業 DI 値の推移（前年同月比）

建設業では、前期より業況、売上高、採算は改善した。資金繰りはプラス水準ながらやや悪化となった。仕入単価は依然上昇が大きく上回るが、前期比でわずかに下落した。従業員の不足感が強いがやや解消している。

	H29. 7 月期	H29. 9 月期	前期 H29. 12 月期	今期 H30. 3 月期	来期見通し H30. 4 ～6 月期
業 況	▲ 9.1	7.7	0.0	10.0	0.0
売 上 高	9.1	38.5	33.3	50.0	20.0
採 算	18.2	▲ 15.4	0.0	10.0	0.0
資金繰り	9.1	0.0	11.1	10.0	0.0
仕入単価	▲ 45.5	▲ 61.5	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 30.0
従 業 員	54.5	38.5	44.4	40.0	30.0

来期については、仕入単価が

マイナス水準ながら改善する見通しで、業況、売上高、採算、資金繰りは悪化するとの見通しである。従業員の人手不足感はさらに解消される見通しとなっている。

### ○業況について

2018年3月期の建設業の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(10.0%)、「不変」と回答した企業は9社(90.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。業況判断(DI)は、10.0(前期比 10.0 ポイント増)となり、改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
好転	1	10.0%	0	0.0%
不変	9	90.0%	10	100.0%
悪化	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は10社(100.0%)、「悪化」と回答した企業0社(0.0%)である。来期予想業況判断(DI)は、0.0(今回調査より 10.0 ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなっている。

### ○売上高の動き

2018年3月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は5社(50.0%)、「不変」と回答した企業は5社(50.0%)、「減少」と回答した企業は0社(0.0%)である。売上高判断(DI)は、50.0(前期比 16.7 ポイント増)となり、改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
増加	5	50.0%	2	20.0%
不変	5	50.0%	8	80.0%
減少	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は2社(20.0%)、「不変」と回答した企業は8社(80.0%)、「減少」と回答した企業0社(0.0%)である。来期予想売上高判断(DI)は、20.0(今回調査より 30.0 ポイント減)となり、悪化するとの見通しとなっている。

### ○採算の状況

2018年3月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(10.0%)、「不変」と回答した企業は9社(90.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。採算状況判断(DI)は、10.0(前期比 10.0 ポイ

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
好転	1	10.0%	0	0.0%
不変	9	90.0%	10	100.0%
悪化	0	0.0%	0	0.0%

ント増)となり、改善した。

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は10社(100.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、0.0(今回調査より10.0ポイント減)となり、悪化する見通しとなっている。

#### ○資金繰りの状況

2018年3月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(10.0%)、「不変」と回答した企業は9社(90.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。資金繰り判断(DI)は、10.0(前期比1.1ポイント減)となり、やや悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	10.0%	0	0.0%
不変	9	90.0%	10	100.0%
悪化	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は10社(100.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、0.0(今回調査より10.0ポイント減)となり、悪化する見通しとなっている。

#### ○仕入単価の動き

2018年3月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は4社(40.0%)、「上昇」と回答した企業は6社(60.0%)である。仕入単価判断(DI)は、▲60.0(前期比6.7ポイント増)となり、マイナス水準ながら改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	0	0.0%	0	0.0%
不変	4	40.0%	7	70.0%
上昇	6	60.0%	3	30.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(70.0%)、「上昇」と回答した企業は3社(30.0%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲30.0(今回調査より30.0ポイント増)となり、マイナス水準ながら引き続き改善するとの見通しとなっている。

#### ○従業員について

2018年3月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は4社(40.0%)、「不変」と回答した企業は6社(60.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、40.0(前期比4.4ポイント減)となり、やや不足感が解消した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	4	40.0%	3	30.0%
不変	6	60.0%	7	70.0%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は3社(30.0%)、「不変」と回答した企業は7社(70.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、30.0(今回調査より10.0ポイント減)となり、不足感の解消に向かうとの見通しとなっている。

#### 企業のコメント

- ・ 職人さんの高齢化と人手不足。

## 小売業・卸売業

### 小売業・卸売業 DI 値の推移（前年同月比）

小売業・卸売業では、前期より業況判断 DI がマイナス水準にあるが改善した。売上高、資金繰りともに改善した。採算は前期より悪化した。仕入単価判断 DI は再びマイナスに転じ悪化した。従業員の状況は人手不足感がさらに強まった。

	H29. 7 月期		H29. 9 月期		前期	今期	来期見通し
					H29. 12 月期	H30. 3 月期	H30. 4 ~6 月期
業 況	▲ 27.3	0.0	▲ 22.2	▲ 14.3			0.0
売 上 高	▲ 18.2	0.0	0.0	14.3			14.3
採 算	▲ 27.3	▲ 28.6	▲ 11.1	▲ 28.6			▲ 14.3
資金繰り	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 11.1	0.0			0.0
仕入単価	▲ 45.5	▲ 57.1	0.0	▲ 42.9			0.0
従 業 員	0.0	0.0	12.5	33.3			33.3

来期については、業況、採算、仕入単価について改善するとの見通しとなっている。売上高、資金繰り、従業員の状況については横ばいで推移する見通しとなっている。

### ○業況について

2018年3月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は6社(85.7%)、「悪化」と回答した企業は1社(14.3%)である。小売業・卸売業の業況判断(DI)は、▲14.3(前期比7.9ポイント増)と改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	数	割合	数	割合
好転	0	0.0%	1	14.3%
不変	6	85.7%	5	71.4%
悪化	1	14.3%	1	14.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は5社(71.4%)、「悪化」と回答した企業は1社(14.3%)である。来期予想業況判断(DI)は、0.0(今回調査より14.3ポイント増)となり、改善するとの見通しとなっている。

### ○売上高の動き

2018年3月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は2社(28.6%)、「不変」と回答した企業は4社(57.1%)、「減少」と回答した企業は1社(14.3%)である。売上高判断(DI)は、14.3(前期比14.3ポイント増)と改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	数	割合	数	割合
増加	2	28.6%	2	28.6%
不変	4	57.1%	4	57.1%
減少	1	14.3%	1	14.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は2社(28.6%)、「不変」と回答した企業は4社57.1%、「減少」と回答した企業は1社(14.3%)である。来期予想売上高判断(DI)は、14.3(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなっている。

### ○採算の状況

2018年3月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(71.4%)、「悪化」と回答した企業は2社(28.6%)である。採算状況判断(DI)は、▲28.6(前期比

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	数	割合	数	割合
好転	0	0.0%	1	14.3%
不変	5	71.4%	4	57.1%
悪化	2	28.6%	2	28.6%

17.5ポイント減)となり、悪化した。

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は4社(57.1%)、「悪化」と回答した企業は2社(28.6%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、▲14.3(今回調査より14.3ポイント増)となり、マイナス水準であるが、改善する見通しとなっている。

#### ○資金繰りの状況

2018年3月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(100.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。資金繰り判断(DI)は、0.0(前期比11.1ポイント増)となり、改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	0	0.0%
不変	7	100.0%	7	100.0%
悪化	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(100.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、0.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなっている。

#### ○仕入単価の動き

2018年3月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は1社(14.3%)、「不変」と回答した企業は2社(28.6%)、「上昇」と回答した企業は4社(57.1%)である。仕入単価判断(DI)は、▲42.9(前期比42.9ポイント減)となり、大きく悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	1	14.3%	2	28.6%
不変	2	28.6%	3	42.9%
上昇	4	57.1%	2	28.6%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は2社(28.6%)、「不変」と回答した企業は3社(42.9%)、「上昇」と回答した企業は2社(28.6%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、0.0(今回調査より42.9ポイント増)となり、改善する見通しとなっている。

#### ○従業員について

2018年3月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は2社(33.3%)、「不変」と回答した企業は4社(66.7%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、33.3(前期比20.8ポイント増)と不足感が強まった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	2	33.3%	2	33.3%
不変	4	66.7%	4	66.7%
過剰	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は2社(33.3%)、「不変」と回答した企業は4社(66.7%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想従業員判断(DI)は、33.3(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなっている。

## 飲食業

飲食業 DI 値の推移（前年同月比）

飲食業では、前期より業況判断 DI がマイナス水準のまま横ばいで推移した。売上高、採算、仕入単価の各判断 DI はマイナス水準ながら改善した。資金繰り判断 DI はマイナス水準を脱し改善した。従業員判断 DI は横ばいで不足感が続く。

来期については、業況、売上高、採算は再び悪化するとの見通しとなっている。資金繰り、仕入単価は横ばいで推移し、従業員の不足感は弱まる見通しとなっている。

	H29. 7 月期		H29. 9 月期		前期	今期	来期見通し
					H29. 12 月期	H30. 3 月期	H30. 4 ~6 月期
業 況	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 50.0
売 上 高	▲ 40.0	0.0	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 33.3
採 算	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7
資金繰り	0.0	▲ 20.0	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	0.0
仕入単価	▲ 80.0	▲ 20.0	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 50.0
従 業 員	20.0	40.0	50.0	50.0	50.0	50.0	16.7

### ○業況について

2018年3月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は1社(16.7%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「悪化」と回答した企業は2社(33.3%)である。飲食業の業況判断(DI)は、▲16.7(前回調査と変わらず)と横ばいで推移した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	1	16.7%	0	0.0%
不変	3	50.0%	3	50.0%
悪化	2	33.3%	3	50.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「悪化」と回答した企業は3社(50.0%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲50.0(今回調査より33.3ポイント減)となり、悪化する見通しとなっている。

### ○売上高の動き

2018年3月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は1社(16.7%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「減少」と回答した企業は2社(33.3%)である。売上高判断(DI)は、▲16.7(前期比33.3ポイント増)となり、マイナス水準ながら改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
増加	1	16.7%	0	0.0%
不変	3	50.0%	4	66.7%
減少	2	33.3%	2	33.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は4社(66.7%)、「減少」と回答した企業は2社(33.3%)である。来期予想売上高判断(DI)は、▲33.3(今回調査より16.7ポイント減)となり、悪化する見通しとなっている。

### ○採算の状況

2018年3月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は4社(66.7%)、「悪化」と回答した企業は2社(33.3%)である。採算状況判断(DI)は、▲33.3(前期比

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	0	0.0%
不変	4	66.7%	2	33.3%
悪化	2	33.3%	4	66.7%

33.3ポイント増)となり、マイナス水準ながら改善した。

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は2社(33.3%)、「悪化」と回答した企業は4社(66.7%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、▲66.7(今回調査より33.3ポイント減)となり、悪化する見通しとなっている。

#### ○資金繰りの状況

2018年3月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は6社(100.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。資金繰り判断(DI)は、0.0(前期比16.7ポイント増)となり、改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
好転	0	0.0%	0	0.0%
不変	6	100.0%	6	100.0%
悪化	0	0.0%	0	0.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は6社(100.0%)、「悪化」と回答した企業は0社(0.0%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、0.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなっている。

#### ○仕入単価の動き

2018年3月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は1社(16.7%)、「不変」と回答した企業は1社(16.7%)、「上昇」と回答した企業は4社(66.7%)である。仕入単価判断(DI)は、▲50.0(前期比16.7ポイント増)となり、マイナス水準ながら改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
下落	1	16.7%	0	0.0%
不変	1	16.7%	3	50.0%
上昇	4	66.7%	3	50.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「上昇」と回答した企業は3社(50.0%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲50.0(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなっている。

#### ○従業員について

2018年3月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は3社(50.0%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「過剰」と回答した企業は0社(0.0%)である。従業員判断(DI)は、50.0(前回調査と変わらず)となり、横ばいで推移した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	社数	割合	社数	割合
不足	3	50.0%	2	33.3%
不変	3	50.0%	3	50.0%
過剰	0	0.0%	1	16.7%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は2社(33.3%)、「不変」と回答した企業は3社(50.0%)、「過剰」と回答した企業は1社(16.7%)である。来期予想従業員判断(DI)は、16.7(今回調査より33.3ポイント減)となり、不足感は弱まる見通しとなっている。

#### 企業のコメント

- ・ ビール値上げ等仕入単価上昇のため、値上げ(店頭価格)思案中。
- ・ 仕入の上昇

## サービス業

サービス業 DI 値の推移（前年同月比）

サービス業では、すべての判断 DI 値がマイナスとなった。売上高を除く、業況、採算、資金繰り、仕入単価、従業員において前回調査より悪化した。

来期については、売上高、従業員については DI 値がマイナスを脱し改善、採算、仕入単価についてはマイナス水準ながら改善する見通しとなっている。業況、資金繰りについては横ばいとなる見通しとなっている。

	H29. 7 月期	H29. 9 月期	前期 H29. 12 月期	今期 H30. 3 月期	来期見通し H30. 4 ~6 月期
業 況	12.5	▲ 11.1	0.0	▲ 22.2	▲ 22.2
売 上 高	25.0	0.0	▲ 14.3	▲ 11.1	0.0
採 算	25.0	11.1	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 11.1
資金繰り	12.5	▲ 11.1	0.0	▲ 11.1	▲ 11.1
仕入単価	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 14.3	▲ 37.5	▲ 25.0
従 業 員	12.5	12.5	14.3	▲ 12.5	0.0

### ○業況について

2018年3月期の業況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は3社(33.3%)、「悪化」と回答した企業は4社(44.4%)である。サービス業の業況判断(DI)は、▲22.2(前期比22.2ポイント減)となり、悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
好転	2	22.2%	1	11.1%
不変	3	33.3%	5	55.6%
悪化	4	44.4%	3	33.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は1社(11.1%)、「不変」と回答した企業は5社(55.6%)、「悪化」と回答した企業3社(33.3%)である。来期予想業況判断(DI)は、▲22.2(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移する見通しとなっている。

### ○売上高の動き

2018年3月期の売上高は、前年同月より「増加」と回答した企業は3社(33.3%)、「不変」と回答した企業は2社(22.2%)、「減少」と回答した企業は4社(44.4%)である。売上高判断(DI)は、▲11.1(前期比3.2ポイント増)となり、小幅に改善した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
増加	3	33.3%	3	33.3%
不変	2	22.2%	3	33.3%
減少	4	44.4%	3	33.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「増加」と回答した企業は3社(33.3%)、「不変」と回答した企業は3社(33.3%)、「減少」と回答した企業は3社(33.3%)である。来期予想売上高判断(DI)は、0.0(今回調査より11.1ポイント増)となり、改善する見通しとなっている。

### ○採算の状況

2018年3月期の採算の状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は3社(33.3%)、「悪化」と回答した企業は4社(44.4%)である。採算状況判断(DI)は、▲22.2(前期比7.9ポイント減)となり、さらに悪化となった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
好転	2	22.2%	2	22.2%
不変	3	33.3%	4	44.4%
悪化	4	44.4%	3	33.3%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は2社(22.2%)、「不変」と回答した企業は4社(44.4%)、「悪化」と回答した企業は3社(33.3%)である。来期予想採算状況判断(DI)は、▲11.1(今回調査より11.1ポイント増)となり、マイナス水準で改善するとの見通しとなっている。

#### ○資金繰りの状況

2018年3月期の資金繰りの状況は、前年同月より「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は8社(88.9%)、「悪化」と回答した企業は1社(11.1%)である。資金繰り判断(DI)は、▲11.1(前期比11.1ポイント減)とマイナスとなり悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	好転	0	0.0%	0
不変	8	88.9%	8	88.9%
悪化	1	11.1%	1	11.1%

向こう3ヵ月の見通しは、「好転」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は8社(88.9%)、「悪化」と回答した企業は1社(11.1%)である。来期予想資金繰り判断(DI)は、▲11.1(今回調査と変わらず)となり、横ばいで推移するとの見通しとなっている。

#### ○仕入単価の動き

2018年3月期の仕入単価の動きは、前年同月より「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は5社(62.5%)、「上昇」と回答した企業は3社(37.5%)である。仕入単価判断(DI)は、▲37.5(前期比23.2ポイント減)となり、さらに悪化した。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	下落	0	0.0%	0
不変	5	62.5%	6	75.0%
上昇	3	37.5%	2	25.0%

向こう3ヵ月の見通しは、「下落」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は6社(75.0%)、「上昇」と回答した企業は2社(25.0%)である。来期予想仕入単価判断(DI)は、▲25.0(今回調査より12.5ポイント増)となり、マイナス水準ながら改善するとの見通しとなっている。

#### ○従業員について

2018年3月期の従業員の状況は、前年同月より「不足」と回答した企業は0社(0.0%)、「不変」と回答した企業は7社(87.5%)、「過剰」と回答した企業は1社(12.5%)である。従業員判断(DI)は、▲12.5(前期比26.8ポイント減)とマイナスに転じ、本調査開始後、初めて過剰感が出ることになった。

	今期の状況 (前年同月比)		向こう3ヵ月の 見通し	
	不足	0	0.0%	1
不変	7	87.5%	6	75.0%
過剰	1	12.5%	1	12.5%

向こう3ヵ月の見通しは、「不足」と回答した企業は1社(12.5%)、「不変」と回答した企業は6社(75.0%)、「過剰」と回答した企業は1社(12.5%)である。来期予想従業員判断(DI)は、0.0(今回調査より12.5ポイント増)となり、過剰感は解消するとの見通しとなっている。

#### 企業のコメント

- ・ 求人活動。
- ・ 商圏の拡大 現エリアは近隣に片寄っているので、広告宣伝を活かし、認知度を上げたい。